

推薦入試 合否判定基準

(普通科・理数科共通)

1. 選抜の方法

中学校から提出された書類と面接・実技等の結果を参考にして総合的に推薦入学予定者を決定する。

[2] 評価項目基準 (北山高校推薦入学者選抜基準表を参考にする)

(1) 文化活動：中体連主催・共催による実績

(2) スポーツ活動：中体連主催・共催による実績

県連盟・協会以外の主催の大会
は審議する

(3) ボランティア活動：県レベル・地区レベルで表彰を受けた者。

(4) 社会活動：県レベル・地区レベルで表彰を受けた者。

(5) 資格取得等の活動：各種検定により基準が異なる。

※空手・書道などの流派の級・段位は「資格取得等の活動」には含めない。

(6) その他、特筆すべきと判断される活動

※上記の実績については、証明する資料があること。団体種目は登録メンバーであること。大会の実績は、規模・主催等によって審議し、総合的に判断する。

(7) 個性表現については、申請内容を発表させ、複数の審査委員で評価する。

※個性表現の評価規準は原則、ランクDとし、表現の内容(技量)に応じて評価する。

一般入試 合否判定基準

(普通科・理数科共通)

1. 選抜の方法

中学校から提出された調査書・学力検査等の成績及び面接の結果を基にして総合的に選抜を行う。

2. 選抜の方法

(1) 内申点と学力検査の成績との比重は5対5とする。

(2) テスト点の合計の偏差値と内申点の合計の偏差値の和で順位をつける。

(3) 各圏の設定

- ①A 圏・・・内申点、テスト点に基づき、募集人員の80%程度の人数が含まれるように範囲を設定。
- ②A' 圏・・・A圏の中から「不適格事項」に抵触する者。
- ③B 圏・・・募集人員の110%が含まれるように設定し、A圏を除いた者。
- ④C 圏・・・上記A圏、A' 圏、B圏のいずれにも入っていない者。